

圧着式SP型コネクタ取付法

(SPP-C31-CL,SPP-C33-CL)

<p>1</p>		<p>コネクタ部品が使用ケーブルに合っていることを確認する。</p> <p>1. ケーブルブーツおよび圧着スリーブを同軸ケーブルに通し、シース、外部導体および絶縁体を図のように切り取る。</p> <p>注 切り取る際、内部導体を傷つけないよう切り取る。また、内部導体の表面に絶縁体のカス、外部導体のカスが残っていないこと。</p> <p>注 同軸ケーブル3C-2Tの場合は、外部導体の中間層にある一括テープを外部導体の根本で切り取ること。</p>
<p>2</p>		<p>2. 中心コンタクトを同軸ケーブルの内部導体に差し込み絶縁体との間に隙間ができないように圧着工具でかしめる。</p> <p>注 圧着状態が適正であることを確認するために、圧着部のクリンプ高さを測定してください。クリンプ高さの基準値は1.4~1.47mmです。基準値からはずれる場合は、圧着工具を調整してください。</p> <p>注 中心コンタクトの根本の段差部分は、圧着しないこと。</p>
<p>3</p>		<p>3. 同軸ケーブルの根本を持ってコツンという感触があるまでコネクタ本体へ押し込む。</p> <p>注 力を入れすぎると、コネクタの絶縁体を破損する恐れがあるため、ゆっくりと押し込むこと。</p> <p>注 ケーブルを軽く引き(2kgf以下)、抜けを確認する。</p>
<p>4</p>		<p>4. 圧着スリーブをコネクタ本体に突き当たるまで移動させ、圧着スリーブを圧着工具でかしめる。このとき、圧着工具の裏側(面取りのない側)を図A部に合わせてかしめる。</p> <p>注 本体の段差部分は圧着しないこと。</p>
<p>5</p>		<p>5. ケーブルブーツをB部まで移動する。</p>

圧着工具は、弊社専用品をご利用ください。弊社専用品を使用しない場合、十分な圧着力が得られません。

使用コネクタ	適用ケーブル	圧着ダイス	ケーブルストリッパ
SPP-C31-CL	3C-2W	TCD-31C	TS100
SPP-C33-CL	3C-2T	TCD-35CA	TS100